

# 教員に求められる資質能力に関する調査研究

安 藤 嘉 章

An Investigation on the Characteristics and Aptitude  
Required to Be a Teacher

Yoshifumi ANDO

## はじめに

「教育は人なり」とか「あらゆる教育の問題は、教師の問題に帰着する」とか言われるように、いかに時代が変わり、社会が変化しようとも、児童・生徒の人格形成に大きな影響を及ぼす教員の資質能力の向上は、不易の課題である。

これからの教員には、変化の激しい時代にあつて、「ゆとり」のなかで「特色ある教育活動」を展開し、子どもたちに自ら学び自ら考え、よりよく問題を解決する能力、豊かな人間性を持ち、たくましく生きるための健康と体力などいわゆる「生きる力」を育む教育を行うことが期待されている。

そのため、教育に対する情熱や使命感を持つとともに、得意分野や個性を有し、学校の課題に的確に対応できる力量のある教員が求められている。

そこで、教員に求められる資質能力について、中央教育審議会や教育職員養成審議会などの各種答申や各都道府県教育委員会等が求める教員像について整理するとともに、宮崎県内の小・中学校の校長・教頭が、教員に求められる資質能力について、どのような意識・ニーズを持っているかを調査研究し、教員養成カリキュラムの編成・改善等に活用しようとするものである。

## 1 教員に求められる資質能力

### (1) 資質能力とは何か

資質能力の類似用語として、「力量」、「資質や力量」、「教職能力」、「資質・能力」、「職能」などがあり、どれをとってもその定義に様々な解釈があるが、ここでは、資質能力に焦点を当てて論を進めていきたい。

コムズ (Combs, A.W) は、教師の具備すべき資質能力に関する諸研究を整理したところ、「熱心さ、ユーモアのセンス、誠実さ、正直さ」など、実に一千個以上の資質能力が教師に要求されとの結論を導いている。<sup>1)</sup>

資質は、「生まれつきの性質。資性。天性」(広辞苑)、「生まれつきの性質や才能」(大辞林)とある。能力は、「物事をなし得る力。はたらき」(広辞苑)、「物事を成し遂げることのできる

力」(大辞林)とある。後者の能力については解釈に違いはないと考えられるが、前者の資質についてはいろいろな解釈があるので、ここでは、1997年7月の教育職員養成審議会の第1次答申の指摘のように、「素質」と区別し、後天的に形成可能なものとして考えてみたい。

なお、中央教育審議会や教育職員養成審議会の答申等では、資質と能力とを分けずに「資質能力」と表現しているが、その両者を区分するなら、津布楽喜代治が指摘するとおり、教育者としての使命感、幼児・児童・生徒に対する教育的愛情などの人格的側面を「資質」とし、成長・発達についての深い理解や教科に関する専門的知識及び実践的指導力などの専門的・技術的側面を「能力」ととらえることができる。<sup>2)</sup>

## (2) 各種答申の指摘する「教員に求められる資質能力」

### ① 中央教育審議会答申(1971年6月)<sup>3)</sup>

中央教育審議会から出された答申「今後における学校教育の総合的な拡充整備のための基本的施策について」において、教員の資質の向上と処遇の改善が述べられている。そこでは、「教職は、本来きわめて高い専門性を必要とするものであり、教育者としての基本的な資質のうえに、教育の理念及び人間の成長と発達についての深い理解、教科の内容に関する専門的な学識、さらにそれらを教育効果として結実させる発達的な指導能力など、高度の資質と総合的な能力が要求される。そのような資質と能力は、その養成、採用、研修、再教育の過程を通じて次第に形成されるべきものであろう。」と指摘している。

### ② 中央教育審議会答申(1978年6月)<sup>4)</sup>

中央教育審議会から出された答申「教員の資質能力の向上について」では、「学校教育の成果は、これを担当する教員に負うところが極めて大きい。優れた教員を確保し、その資質能力の絶えざる向上を図ることは、我が国教育の発展のための基本的な課題である。現在、初等中等教育については、教育課程の改善や教員の処遇改善等、教育条件の整備が進められているが、国民の間には、教員に対して、広い教養、豊かな人間性、深い教育的愛情、教育者としての使命感、充実した指導力、児童・生徒との心の触れ合いなどを一層求める声が強い。もとより、学校教育の成果を高めるためには、学校における教育指導に待つばかりでなく、家庭や社会における教育的配慮と学校に対する積極的な理解と協力が強く望まれるが、一人一人の子どもの健やかな成長に対する父母の強い願いに思いをいたし、教員自らが更にその重責を深く自覚して、不断の教育実践と自己啓発に努め、学校教育に対する国民の信頼に応えることが期待される。」と指摘している。

### ③ 教育職員養成審議会答申(1987年12月)<sup>5)</sup>

教育職員養成審議会から出された答申「教員の資質能力の向上方策等について」では、「教員の資質能力とは、一般に、専門的職業である教職に対する愛着、誇り、一体感に支えられた知識、技能の総体といった意味内容を有するもので、素質とは区別され後天的に形成可能なものと解される。」と述べている。

また、「学校教育の直接の担い手である教員の活動は、人間の心身の発達にかかわるものであり、幼児・児童・生徒の人格形成に大きな影響を及ぼすものである。このような専門職としての教員の職責にかんがみ、教員については、教育者としての使命感、人間の成長・発達についての深い理解、幼児・児童・生徒に対する教育的愛情、教科等に関する専門的知識、

広く豊かな教養、そしてこれらを基盤とした実践的指導力が必要である。」と指摘している。

④ 中央教育審議会答申（1996年7月）<sup>6)</sup>

中央教育審議会第1次答申は、これからの教員に求められる資質能力について、「教科指導や生徒指導、学級経営などの実践的指導力の育成を一層重視することが必要であると考えられる。特に、今日のいじめや登校拒否などの深刻な状況を踏まえるとき、教員一人一人が子どもの心を理解し、その悩みを受け止めようとする態度を身に付けることは極めて重要であると言わなければならない。」と指摘している。

⑤ 教育職員養成審議会第1次答申（1997年7月）<sup>7)</sup>

教育職員養成審議会から出された第1次答申「新たな時代に向けた教員養成の改善方策について」では、「学校教育の成否は、幼児・児童・生徒の教育に直接携わる教員の資質能力に負うところが極めて大きく、これからの時代に求められる学校教育を実現するためには、教員の資質能力の向上がその重要な前提となる。また、今日学校ではいじめや登校拒否など深刻な問題が生じており、教科指導の面でも、生徒指導や学級経営の面でも、教員には新たな資質能力が求められている。

教員に求められる資質能力のなかには、いつの時代も変わらないものもあるし、そのときどきの社会の状況により特に重視されるものもある。今日においても、教員に求められる一般的資質能力、すなわちいつの時代も変わらず求められる資質能力の重要性は、当然のこととして強調されなければならない。しかし、上記のような社会的要請を踏まえれば、学校が現在直面している課題に適切に対処し、これからの時代に求められる学校教育の実現を図る観点から、教員の資質能力の向上を図ることが特に必要である。」と指摘している。

⑥ 中央教育審議会答申（1998年9月）<sup>8)</sup>

中央教育審議会答申「今後の地方教育行政の在り方について」では、「学校において個性や特色ある教育活動を展開するためには、校長及びそれを補佐する教頭に、教育に関する理念や識見を有し、地域や学校の状況・課題を的確に把握しながら、リーダーシップを発揮するとともに、教職員の意欲を引き出し、関係機関等との連携・折衝を適切に行い、組織的、機動的な学校運営を行うことができる資質を持つ優れた人材を確保すること、また、教職員の資質向上と意識改革を図ることが重要である。」と指摘している。

⑦ 教育職員養成審議会第3次答申（1999年12月）<sup>9)</sup>

教育職員養成審議会から出された第3次答申「養成と採用・研修との連携の円滑化について」では、「今後における教員の資質能力の在り方を考えるにあたっては、画一的な教員像を求めることは避け、生涯にわたり資質能力の向上を図るという前提に立って、全教員に共通に求められる基礎的・基本的な資質能力を確保するとともに、更に積極的に各人の得意分野づくりや個性の伸長を図ることが必要である。結局は、このことが学校に活力をもたらし、学校の教育力を高めることに資するものである。」と指摘している。

## 2 各都道府県教育委員会の求める教員像

任命権者が、今後、どのような資質能力を持った教員を採用しようとしているのか、求める教員像を明確に示すところが増えつつある。

例えば、山口県では、平成16年度公立学校教員採用候補者選考試験実施大綱に「豊かな人間性と人権尊重の精神を身につけた人」、「強い使命感と倫理観を持ち続けることができる人」、「児童・生徒を共感的に理解し、深い教育的愛情を持っている人」、「幅広い教養と専門的知識、技能を持っている人」、「豊かな社会性を持ち、幅広いコミュニケーションができる人」、「常に自己研鑽に努める意欲とチャレンジ精神のある人」など求める教師像を掲げている。

公表されている24都道府県教育施策、長期総合計画<sup>10)</sup>、教員採用選考試験要項<sup>11)</sup>等を参考に、求める教員像を挙げると、次のとおりである。

なお、個々の求められる教員像を、表1～3のように「人格的側面に関するもの」、「専門的・技術的側面に関するもの」及び「その他」に分類した。

表1 人格的側面に関するもの（資質）

- ・ 豊かな人間性を有する教員
- ・ 教育に対する情熱や使命感を持つ教員
- ・ 倫理観を持ち続けることができる教員
- ・ 規範意識を持ち、自らを律することができる教員
- ・ 児童生徒に対する教育的愛情を持つ教員
- ・ 円満で調和のとれた教員
- ・ 児童生徒に公平公正に接する教員
- ・ 思いやりのある教員
- ・ 素直で明るく、子どもとともに遊び、ともに学ぼうとする教員
- ・ 柔軟性をそなえ、たくましく生きる教員
- ・ 心身共に健やかで、明朗活発な教員
- ・ 協調性がある教員
- ・ 人間的な魅力を持つ教員
- ・ 児童生徒に好かれる教員
- ・ 人権尊重の精神を身につけた教員
- ・ チャレンジ精神の旺盛な教員
- ・ 穏健、中正な良識のある教員

表2 専門的・技術的側面に関するもの（能力）

- ・ 教科等に関する専門的な知識・技能を有する教員
- ・ 人間の成長・発達についての深い理解がある教員
- ・ 児童生徒を共感的に理解することのできる教員
- ・ 児童生徒の相談にのれる教員
- ・ 実践的指導力のある教員

- ・ 職務遂行に必要な体力を有する教員
- ・ 児童生徒の学習指導，生徒指導等に力量を発揮する教員
- ・ いじめや不登校などの問題を自分で解決しようとする教員
- ・ 実行力に富み，活力のある教員
- ・ マネジメント能力を有する教員
- ・ 的確なコミュニケーション能力を有する教員
- ・ 変化に対応できる適応能力，処理能力のある教員
- ・ 児童生徒や保護者等との対応が的確にできる教員
- ・ 児童生徒の適性を正しく把握し，個性を伸ばしていける教員
- ・ 得意分野を持つ教員

表 3 その他

- ・ 豊富な体験を持つ教員
- ・ 広く豊かな教養を持つ教員
- ・ 豊かな社会性を持つ教員
- ・ 常に自己研鑽に努める教員
- ・ 授業や部活動で，生徒と一緒に汗を流す教員
- ・ 個性豊かな教員

表 1～3 のように 3 つの視点から分類したが，その中で，各都道府県が多く掲げている「教員に求められる教員像」を集約すると，表 4 のとおりである。

表 4 求められる教員像

- ・ 豊かな人間性を有する教員
- ・ 教育に対する情熱や使命感を持つ教員
- ・ 児童生徒に対する教育的愛情を持つ教員
- ・ 人間の成長・発達についての深い理解がある教員
- ・ 教科等に関する専門的な知識・技能を有する教員
- ・ 広く豊かな教養を持つ教員
- ・ 実践的指導力のある教員

この 7 点は，教育職員養成審議会の答申で指摘されている「教員に求められる資質能力」と同じものであるといつてよいであろう。

### 3 教員に求められる資質能力に関する調査研究

#### (1) 調査の方法

##### ① 調査の目的

本調査は、宮崎県内の小・中学校の校長・教頭に対して、教育職員養成審議会の答申をもとに、「教員に求められる資質能力」に関する意識・ニーズ調査を行い、「教員に求められる資質能力」についての基礎資料を得ることを目的に実施したものである。

##### ② 調査対象

調査対象は、宮崎県内の国・公・私立小・中学校の校長及び教頭である。

表5 宮崎県内の国・公・私立小・中学校の校長及び教頭数

校 種 \ 職 種	校 長	教 頭	計
小 学 校	272 名	273 名	545 名
中 学 校	147 名	149 名	296 名
計	419 名	422 名	841 名

##### ③ 調査票の回収結果

調査票の回収結果は、表6のとおりである。

表6 調査票の回収結果

校 種 \ 職 種	校 長 (回収率)	教 頭 (回収率)	計 (回収率)
小 学 校	221名 (81.3%)	227名 (83.2%)	448名 (82.2%)
中 学 校	123名 (83.7%)	128名 (85.9%)	251名 (84.8%)
計	344名 (82.1%)	355名 (84.1%)	699名 (83.1%)

※ 国立学校の副校長は、校長として集計した。

##### ④ 調査手続き・期間

郵送で質問紙調査への回答を依頼した。平成15年6月下旬に送付し、7月末を回収の期日とした。

##### ⑤ 集計方法

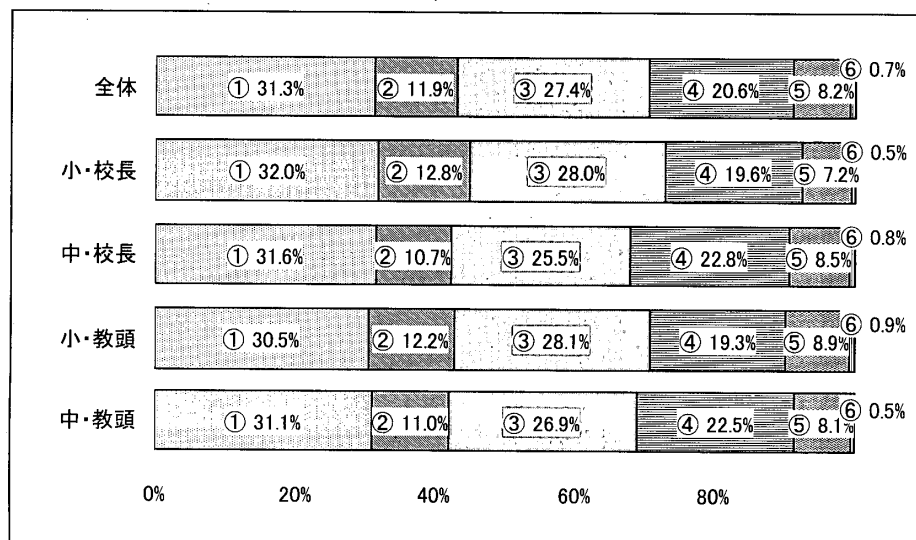
- ・ 複数選択の場合は、延べ回答数を100.0パーセントとして集計した。
- ・ 統計の割合は、小数第2位を四捨五入して小数1位で整理したので、選択肢の該当数が1の場合は、全体の部で0.0パーセントと記してある。(問7・9・11)

## (2) 調査の結果

## 【いつの時代にも教員に求められる資質能力について】

- 1 いつの時代にも教員に求められる資質能力として、特に求められる資質能力を、次の中から3つ選んでください。

図 1



- ①教育者としての使命感    ②児童・生徒の成長・発達についての深い理解  
 ③児童・生徒に対する教育的愛情    ④教科等に関する専門的知識  
 ⑤広く豊かな教養    ⑥その他

## ※ 考 察

いつの時代にも教員に求められる資質能力として、1番多いのが「教育者としての使命感」の31.3%で、2番目に「児童・生徒に対する教育的愛情」の27.4%、3番目に「教科等に関する専門的知識」の20.6%である。

「教育者としての使命感」や「児童・生徒に対する教育的愛情」など「人格的側面の重視」の観点で、「教科等に関する専門的知識」や「児童・生徒の成長・発達についての深い理解」など「専門的・技術的側面の重視」の観点を上回っている。

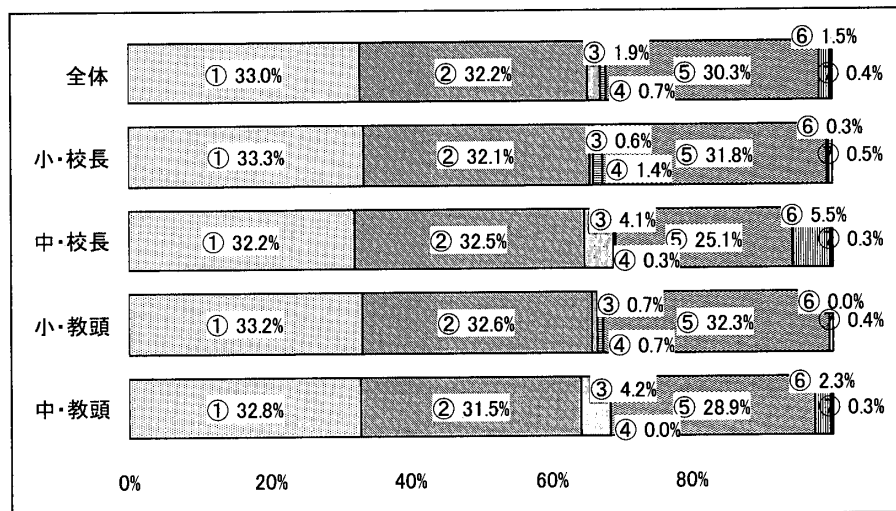
## 〔その他〕(13名)

- ・ 豊かな人間性 (6名)
- ・ 社会人としてのマナー
- ・ 常識
- ・ 学習、生活、心の面の指導力
- ・ 向上心
- ・ 清掃、飼育、栽培等の指導力
- ・ 教育技術
- ・ たくましい心と体

など

2 上記の資質能力を基盤とした実践的指導力の発揮が、特に期待されるものを、次の中から3つ選んでください。

図 2



①学習指導に関するもの ②生徒指導に関するもの ③進路指導に関するもの  
 ④保健体育指導に関するもの ⑤学級・学年経営に関するもの  
 ⑥部活動指導に関するもの ⑦その他

#### ※ 考 察

いつの時代にも教員に求められる資質能力の発揮が特に期待されるものとして、1番多いのが「学習指導に関するもの」で33.0%、2番目が「生徒指導に関するもの」で32.2%、3番目が「学級・学年経営に関するもの」で30.3%である。

「部活動に関するもの」が、中学校校長5.5%、同教頭2.3%と少数とはいえ、小学校と比較すると大きな割合を占めている。

「進路指導」についても同様のことがいえる。

[その他] (7名)

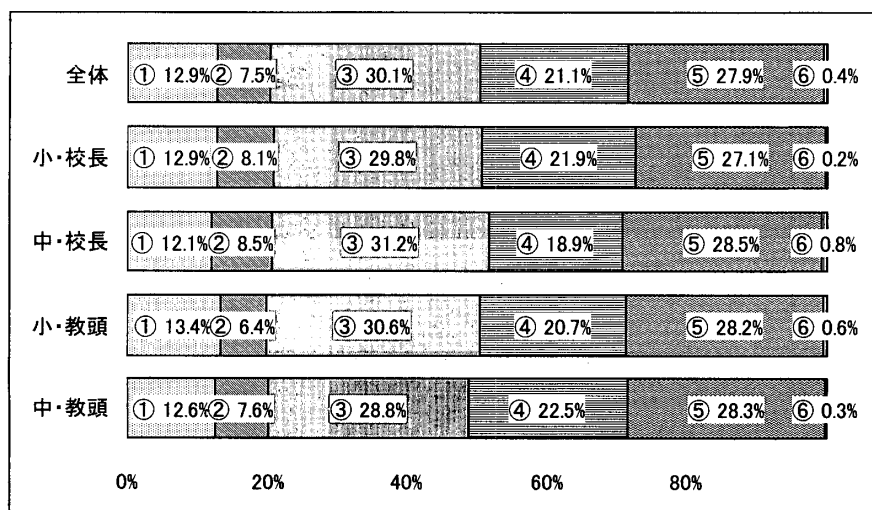
- ・ 学校運営への参画 (2名)
- ・ 地域、保護者との連携
- ・ いじめ、不登校問題や社会規範についての指導力
- ・ 家庭、地域社会の教育力の推進
- ・ 管理運営に関すること
- ・ 人間教育

など

【今後、特に教員に求められる資質能力について】

3 地球的視野に立って行動するための資質能力として、地球、国家、人間等に関する適切な理解があります。その中で特に求められる資質能力を、次の中から3つ選んでください。

図 3



- ①地球観に関するもの ②国家観に関するもの ③人間観に関するもの  
 ④個人と地球や国家の関係についての適切な理解に関するもの  
 ⑤社会・集団における規範意識に関するもの ⑥その他

※ 考 察

今後、特に教員に求められる資質能力として、地球的視野に立って行動するための資質能力がある。その中の地球、国家、人間等に関する適切な理解に関するもので、特に求められる資質能力を問うものである。1番多いのが「人間観に関するもの」で30.1%である。2番目が「社会・集団における規範意識に関するもの」で27.9%，3番目が「個人と地球や国家の関係についての適切な理解に関するもの」で21.1%と続いている。

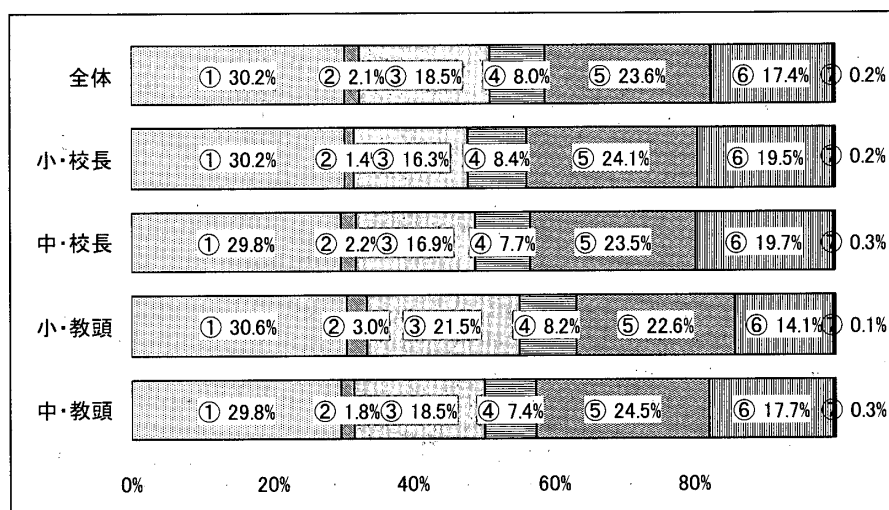
〔その他〕（9名）

- ・ 道徳性（3名）
- ・ 同和教育
- ・ 人間性
- ・ 礼法
- ・ 民族の歴史や文化に関するもの
- ・ コンピュータや外国語などのコミュニケーション能力
- ・ 宇宙観，自然観

など

- 4 地球的視野に立って行動するための資質能力として、豊かな人間性に関するものがあります。その中で特に求められる資質能力を、次の中から3つ選んでください。

図 4



- ①人間尊重・人権尊重の精神 ②男女平等の精神 ③思いやりの心  
 ④ボランティア精神 ⑤美しいものや自然に感動する心などの柔らかな感性  
 ⑥正義感や公正さを重んじる心 ⑦その他

#### ※ 考 察

地球的視野に立って行動するための資質能力として、豊かな人間性に関するものがある。その中で、1番多いのが「人間尊重・人権尊重の精神」で30.2%、2番目が「美しいものや自然に感動する心などの柔らかな感性」で23.6%、3番目が「思いやりの心」で18.5%である。

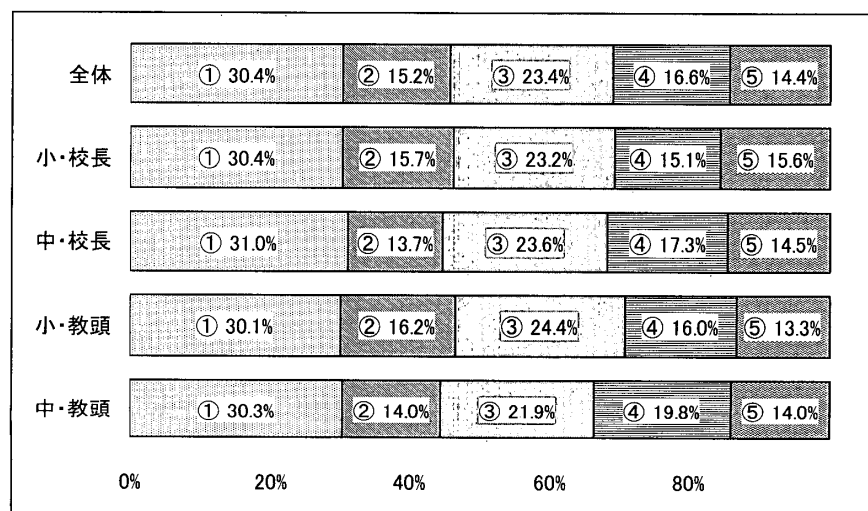
[その他] (4名)

- ・ 異文化理解
- ・ 感謝の心
- ・ 道徳性
- ・ 自己を見つめる心

など

5 地球的視野に立って行動するための資質能力として、国際社会で必要とされる基本的資質能力があります。その中で特に求められる資質能力を、次の中から3つ選んでください。

図 5



- ①わが国の伝統や文化を大切にする態度  
 ②外国語によるコミュニケーション能力  
 ③外国の人々の生活や文化を理解し、尊重する態度  
 ④日本人としての自覚を持って、国際親善に努める態度  
 ⑤視野の広さや社会性      ⑥その他

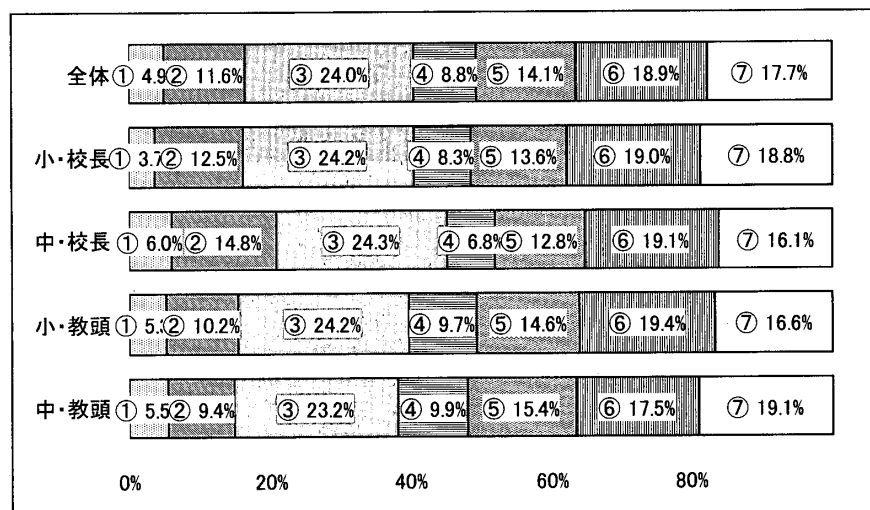
#### ※ 考 察

地球的視野に立って行動するための資質能力として、国際社会で必要とされる基本的資質能力がある。その中で特に求められるものとして、1番多いのが「わが国の伝統や文化を大切にする態度」の30.4%で、2番目が「外国の人々の生活や文化を理解し、尊重する態度」の23.4%、3番目が「日本人としての自覚を持って、国際親善に努める態度」の16.6%である。

[その他]      なし

- 6 変化の時代を生きる社会人に求められる資質能力として、問題解決能力等にかかわるものがあります。その中で特に求められる資質能力を、次の中から3つ選んでください。

図 6



- ①個性に関するもの    ②感性に関するもの    ③創造力に関するもの  
 ④応用力に関するもの    ⑤論理的思考力に関するもの  
 ⑥問題解決能力に関するもの    ⑦継続的な自己教育力に関するもの  
 ⑧その他

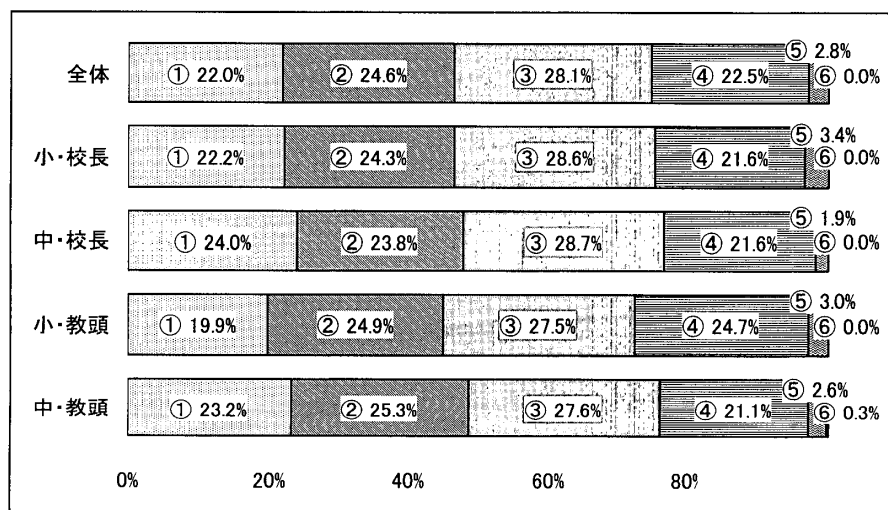
#### ※ 考 察

変化の時代を生きる社会人に求められる資質能力として、問題解決能力等にかかわるものがある。その中で特に求められる資質能力として、1番多いのが「創造力に関するもの」の24.0%で、2番目が「問題解決能力に関するもの」の18.9%、3番目が「継続的な自己教育力に関するもの」の17.7%である。

[その他]                      なし

7 変化の時代を生きる社会人に求められる資質能力として、人間関係にかかわるものがあります。その中で特に求められる資質能力を、次の中から3つ選んでください。

図 7



- ①社会性に関するもの ②対人関係能力に関するもの ③豊かな人間性  
 ④コミュニケーション能力に関するもの ⑤ネットワーキング能力に関するもの  
 ⑥その他

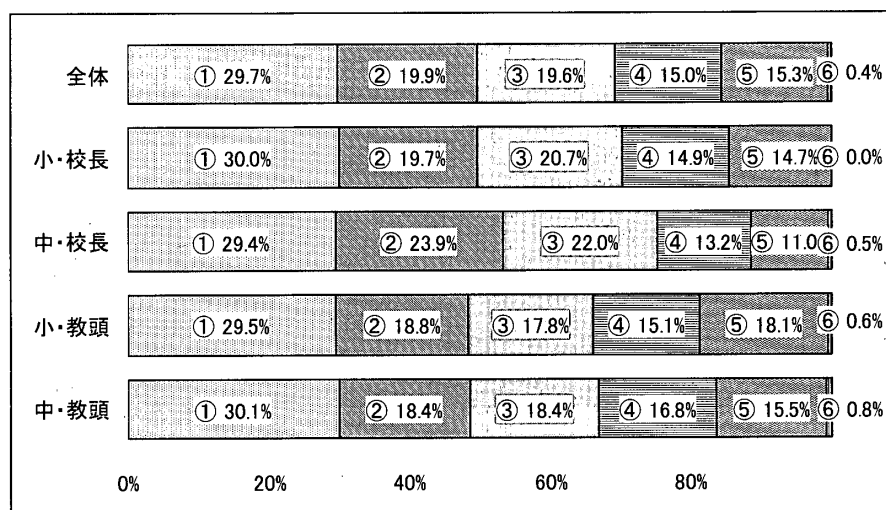
#### ※ 考 察

変化の時代を生きる社会人に求められる資質能力として、人間関係にかかわるものがある。その中で特に求められる資質能力として、1番多いのが「豊かな人間性」で28.1%，2番目が「対人関係能力に関するもの」で24.6%，3番目が「コミュニケーション能力に関するもの」で22.5%と続いている。

[その他] (1名) その他に○をつけているが、項目については記入なし。

- 8 変化の時代を生きる社会人に求められる資質能力として、**社会の変化に適応するための知識及び技能**があります。その中で特に求められる資質能力を、次の中から3つ選んでください。

図 8



- ①自己表現能力    ②メディア・リテラシー    ③知的的好奇心  
 ④基礎的なコンピュータ活用能力    ⑤外国語のコミュニケーション能力  
 ⑥その他

#### ※ 考 察

変化の時代を生きる社会人に求められる資質能力として、社会の変化に対応するための知識及び技能がある。その中で特に求められる資質能力として、1番多いのが「自己表現能力」の29.7%で、2番目が「メディア・リテラシー」の19.9%、3番目が「知的的好奇心」の19.6%である。

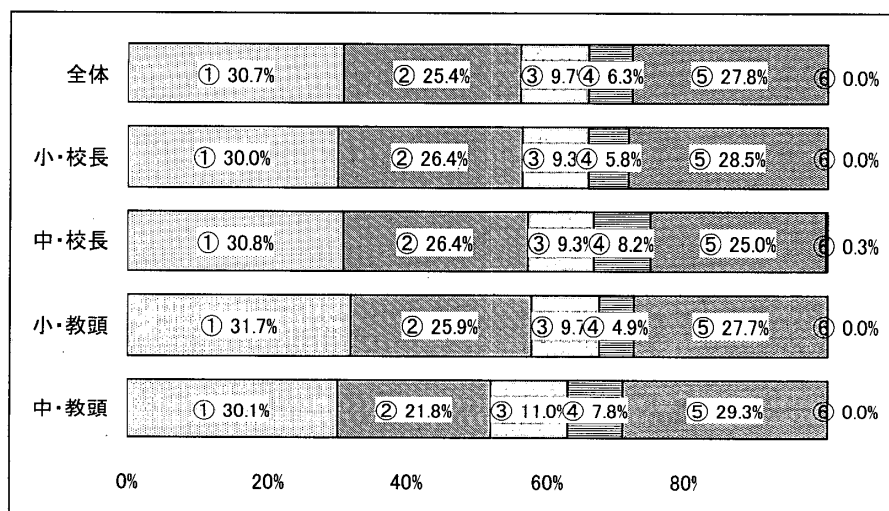
#### 〔その他〕（9名）

- ・ 生涯学習能力
- ・ 先見性
- ・ 問題解決能力
- ・ 自己管理能力
- ・ 社会の情報を入手し、自分の生き方を定めていく能力
- ・ 豊かな感性
- ・ 耐性
- ・ 自己教育力
- ・ 豊かな人間性

など

- 9 教員の職務から必然的に求められる資質能力として、児童・生徒や教育の在り方に関する適切な理解があります。その中で特に求められる資質能力を、次の中から3つ選んでください。

図 9



- ①児童・生徒の成長・発達に関する理解 ②教育理念  
 ③教育理論についての理解 ④国家における教育の役割についての理解  
 ⑤教育課程・学習指導要領についての理解 ⑥その他

#### ※ 考 察

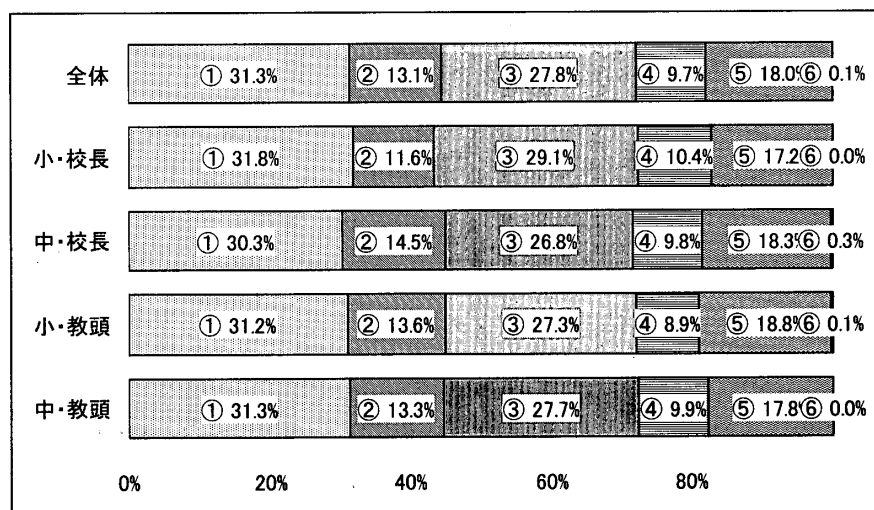
教員の職務から必然的に求められる資質能力として、児童・生徒や教育の在り方に関する適切な理解がある。その中で特に求められる資質能力として、1番多いのが「児童・生徒の成長・発達に関する理解」で30.7%、2番目が「教育課程・学習指導要領についての理解」で27.8%、3番目が「教育理念」の25.4%と続いている。

[その他] (1名)

- ・ 時代に応じた教育課題に対する理解

- 10 教員の職務から必然的に求められる資質能力として、教職に対する愛着、誇り、一体感があります。その中で特に求められる資質能力を、次の中から3つ選んでください。

図10



- ①教育に対する情熱・使命感      ②児童・生徒に対する責任感や興味・関心  
 ③児童・生徒に対する教育的愛情      ④教職に対する生きがい  
 ⑤豊かで包容力のある人間性      ⑥その他

#### ※ 考 察

教員の職務から必然的に求められる資質能力として、教職に対する愛着、誇り、一体感がある。その中で特に求められる資質能力として、1番多いのが「教育に対する情熱・使命感」の31.3%、2番目が「児童・生徒に対する教育的愛情」の27.8%、3番目が「豊かで包容力のある人間性」の18.0%である。

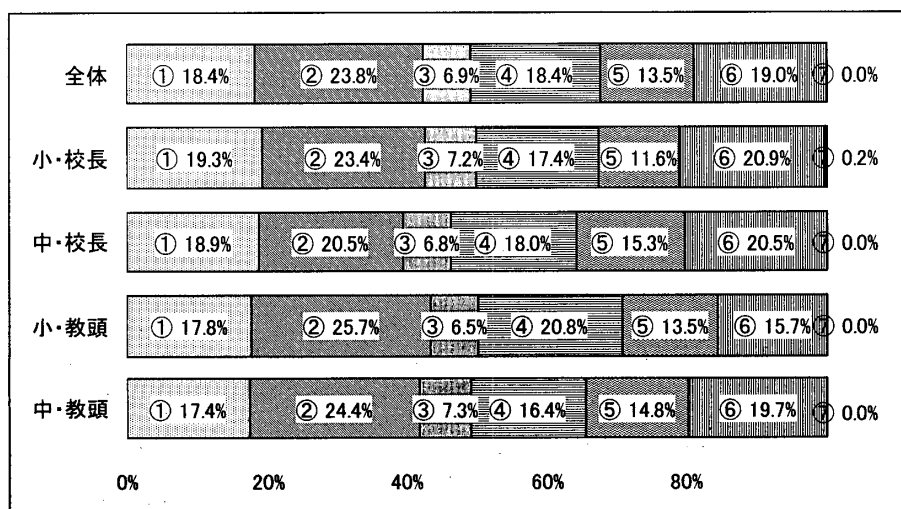
[その他] (2名)

- ・ 組織人としての自覚
- ・ 厳しさ

など

- 11 教員の職務から必然的に求められる資質能力として、教科指導、生徒指導等のための知識、技能及び態度があります。その中で特に求められる資質能力を、次の中から3つ選んでください。

図11



- ①教職の意義や教員の役割に関する正確な知識  
 ②子どもの個性や課題解決能力を生かす能力  
 ③子どもを思いやり感情移入できること  
 ④カウンセリング・マインド ⑤困難な事態をうまく処理できる能力  
 ⑥地域・家庭との円滑な関係を構築できる能力 ⑦その他

#### ※ 考 察

教員の職務から必然的に求められる資質能力として、教科指導、生徒指導等のための知識、技能及び態度がある。その中で特に求められる資質能力として、1番多いのが「子どもの個性や課題解決能力を生かす能力」の23.8%，2番目が「地域・家庭との円滑な関係を構築できる能力」の19.0%，3番目が「教職の意義や教員の役割に関する正確な知識」及び「カウンセリング・マインド」で18.4%である。

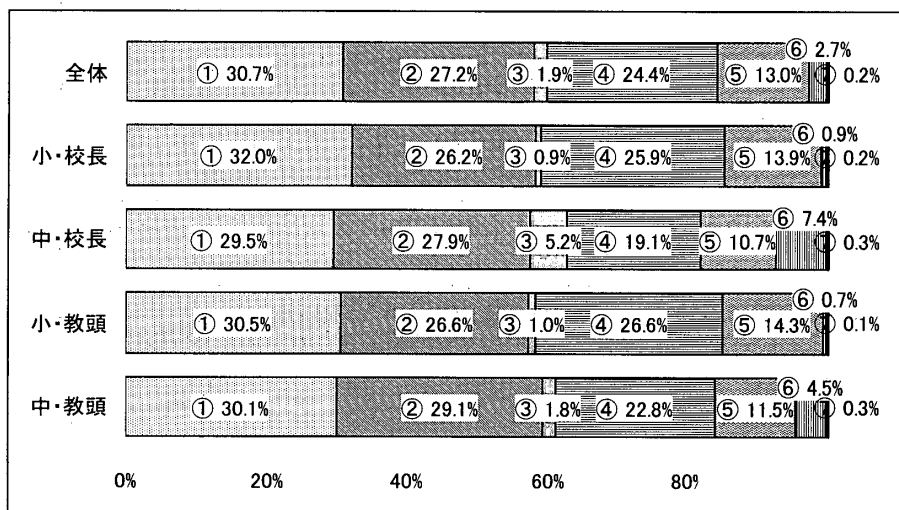
[その他] (1名)

- ・ 子どものわずかな成長も察知できる観察眼

### 【得意分野を持つ個性豊かな教員の必要性について】

12 教育職員養成審議会の答申では、すべての教員が一律にこれら多様な資質能力を高度に身に付けることを期待しても、それは現実的ではない。むしろ学校においては、多様な資質能力を持つ個性豊かな人材によって構成される教員集団が連携・協働することにより、学校という組織全体として充実した教育活動を展開すべきものであると述べています。特に、どのような得意分野を持つ教員が必要ですか。次の中から3つ選んでください。

図12



- ①学習指導に優れた教員 ②生徒指導に優れた教員 ③進路指導に優れた教員  
 ④学級・学年経営に優れた教員 ⑤保護者・地域住民との連携に優れた教員  
 ⑥部活動の指導に優れた教員 ⑦その他

#### ※ 考 察

どのような得意分野を持つ個性豊かな教員が求められているかについては、1番多いのが「学習指導に優れた教員」の30.7%で、2番目が「生徒指導に優れた教員」の27.2%、3番目が「学級・学年経営に優れた教員」の24.4%である。

#### [その他] (4名)

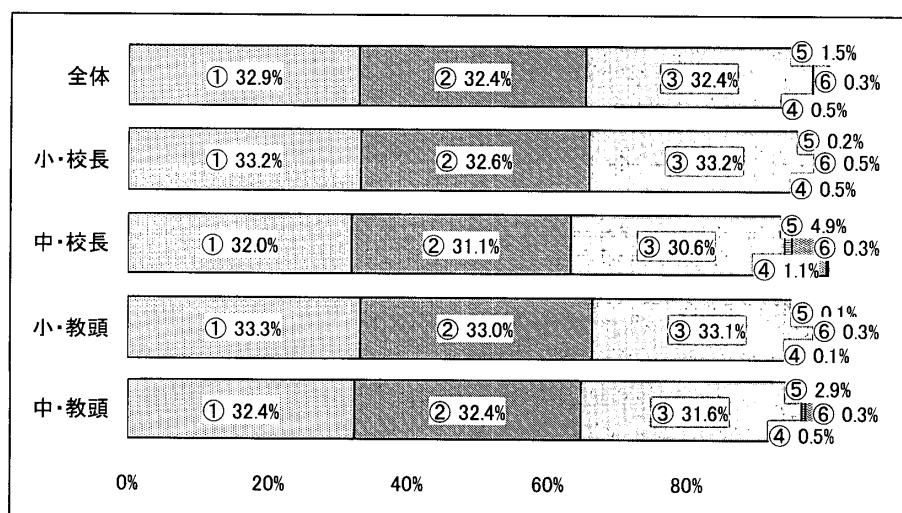
- ・ 校内研修の推進に優れた教員
- ・ 環境整備に優れた教員
- ・ 組織体の一員として理解のある教員
- ・ 心の教育のできる教員

## 【教員の各ライフステージに応じて求められる資質能力について】

## 【初任者の段階】

13 初任者に特に求められる実践的指導力の基礎を、次の中から3つ選んでください。

図13



- ①教科指導に関するもの      ②生徒指導に関するもの  
 ③学級経営に関するもの      ④進路指導に関するもの  
 ⑤部活動の指導に関するもの   ⑥その他

## ※ 考 察

初任者に特に求められる実践的指導力の基礎として、1番多いのが「教科指導に関するもの」の32.9%で、2番目に「生徒指導に関するもの」と「学級経営に関するもの」が同じく32.4%で続いている。

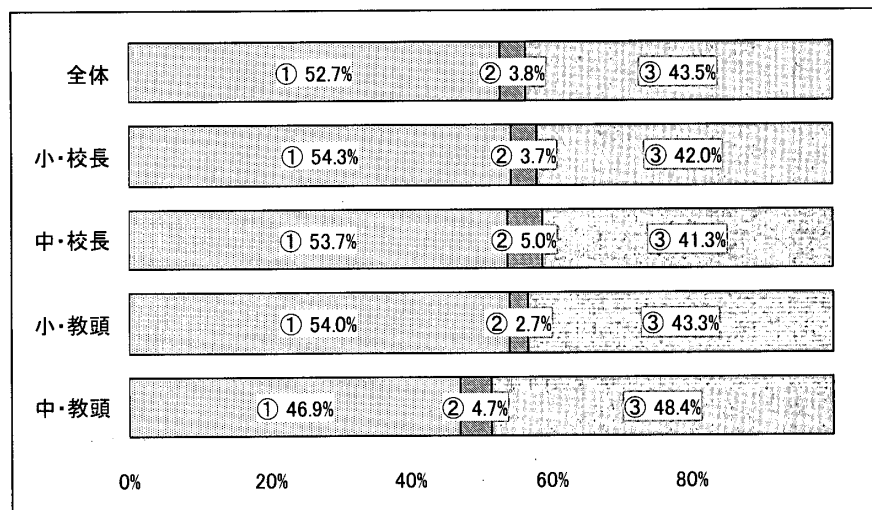
## [その他] (7名)

- ・ 保護者との対応
- ・ 危機管理に関するもの
- ・ 使命感や教育公務員としての実践力に関するもの
- ・ 行動力
- ・ PTA活動への参画
- ・ 社会性、保護者や地域と連携がとれる力
- ・ 心の教育に関するもの

など

- 14 初任者に求められる資質能力について、教育者としての情熱、使命感などのような人間性重視と、教科等に関する専門的知識・技能を重視する観点とがありますが、どちらに重きを置かれますか。

図14



①人間性重視の観点 ②専門性重視の観点 ③両方とも同じくらい

#### ※ 考 察

初任者に特に求められる資質能力について、教育者としての情熱、使命感などのような人間性重視の観点と、教科等に関する専門的知識・技能を重視する観点のどちらに重きを置くかの問いであるが、「人間性重視の観点」が52.7%と過半数を占め、「専門性重視の観点」は3.8%と非常に少ない。

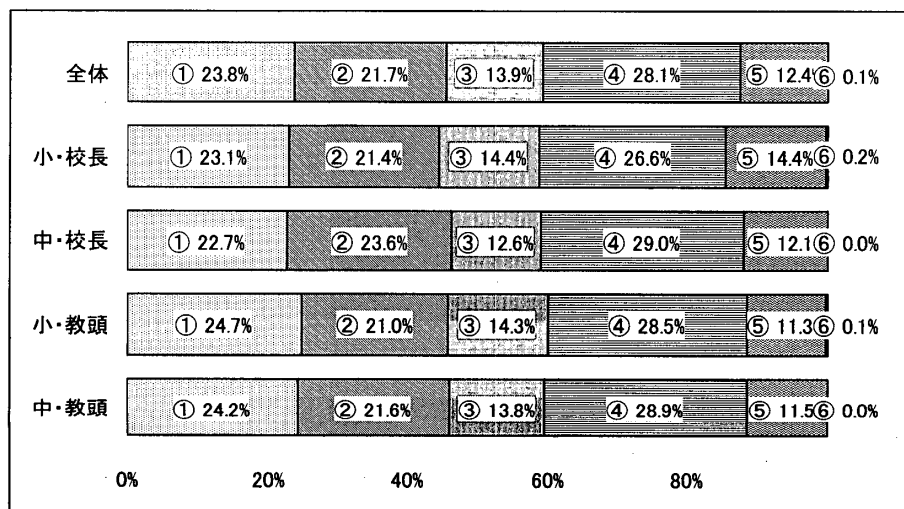
「専門性重視の観点」で小学校と中学校とを比較すると、中学校の方が小学校よりも約5割多い。

[その他]            なし

## 【中堅教員の段階】

15 中堅教員に特に求められる資質能力について、次の中から3つ選んでください。

図15



- ①主任等学校運営上重要な役割を担うこと  
 ②若手教員への助言・援助など指導的役割を担うこと  
 ③より一層職務に関する専門知識や幅広い教養を身に付けること  
 ④学校運営に積極的に参加していくことができるような企画立案，事務処理等を行うこと  
 ⑤管理職の意を体し，率先垂範すること ⑥その他

## ※ 考 察

中堅教員に特に求められる資質能力では、1番多いのが「学校運営に積極的に参加していくことができるような企画立案，事務処理等を行うこと」の28.1%で、2番目が「主任等学校運営上重要な役割を担うこと」の23.8%，3番目が「若手教員への助言・援助など指導的役割を担うこと」の21.7%と続いている。

[その他] (3名)

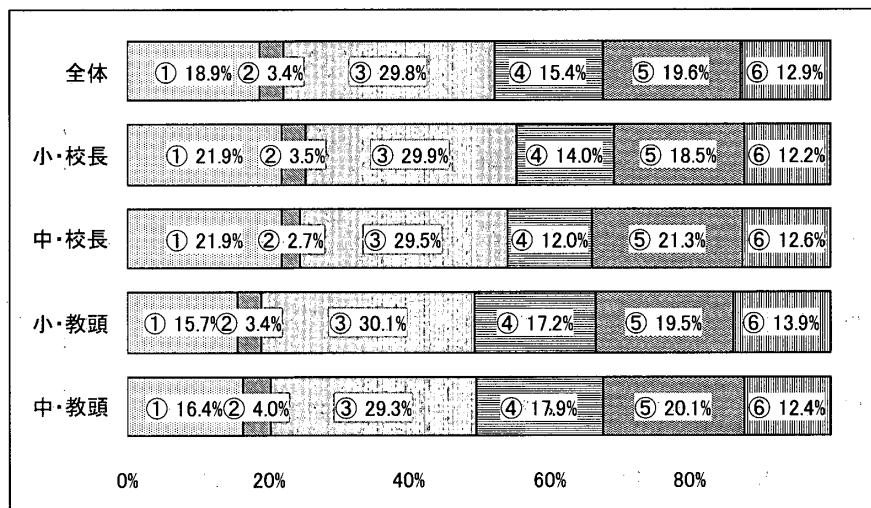
- ・ 教師としての生き方
- ・ 使命感
- ・ 教員としての自覚

など

## 【管理職の段階】

16 管理職に特に求められる資質能力について、次の中から3つ選んでください。

図16



- ①教育に関する理念や識見 ②関係機関等との連携・折衝  
 ③地域や学校の状況・課題を把握しながら、学校の目標を提示し、その目標達成に向けて教職員の意欲を引き出すなどのリーダーシップ  
 ④学校運営全体を視野に入れた総合的な事務処理を推進するマネジメント能力  
 ⑤組織的、機動的な学校運営を行うことのできる資質能力  
 ⑥豊かな人間性 ⑦その他

## ※ 考 察

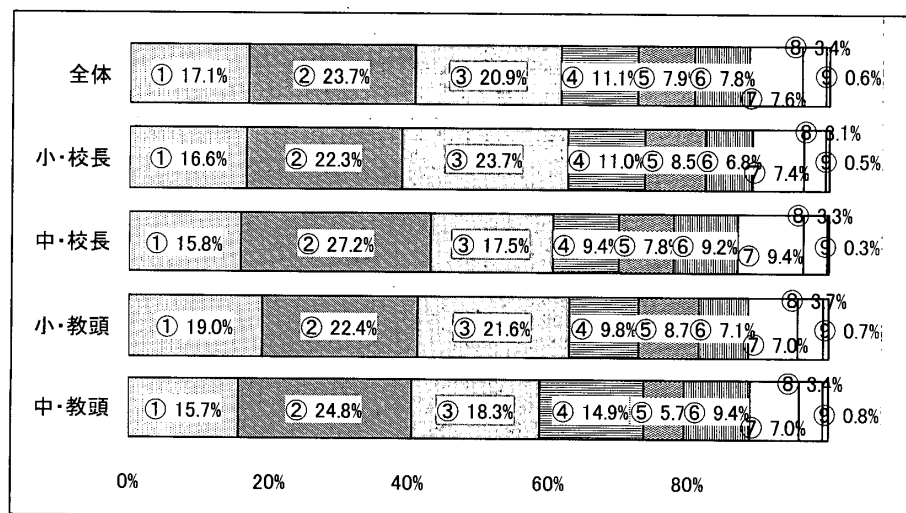
管理職に特に求められる資質能力として、1番多いのが「地域や学校の状況・課題を把握しながら、学校の目標を提示し、その目標達成に向けて教職員の意欲を引き出すなどのリーダーシップ」が29.8%で、2番目が「組織的・機動的な学校運営を行うことのできる資質能力」の19.6%、3番目が「教育に関する理念や識見」の18.9%である。

[その他]            なし

## 【指導力等に問題のある教員について】

17 指導力等に問題のある教員の実態として、多いと思われるものを、次の中から3つ選んでください。

図17



- ①授業が成立しない      ②児童・生徒との信頼関係が築けない  
 ③児童・生徒の掌握ができず、学級をまとめることができない  
 ④責任感に欠ける      ⑤学校運営への参加意識に欠ける  
 ⑥協調性に欠ける      ⑦勤務意欲に欠ける  
 ⑧公務員として不適切な言動がある      ⑨その他

## ※ 考 察

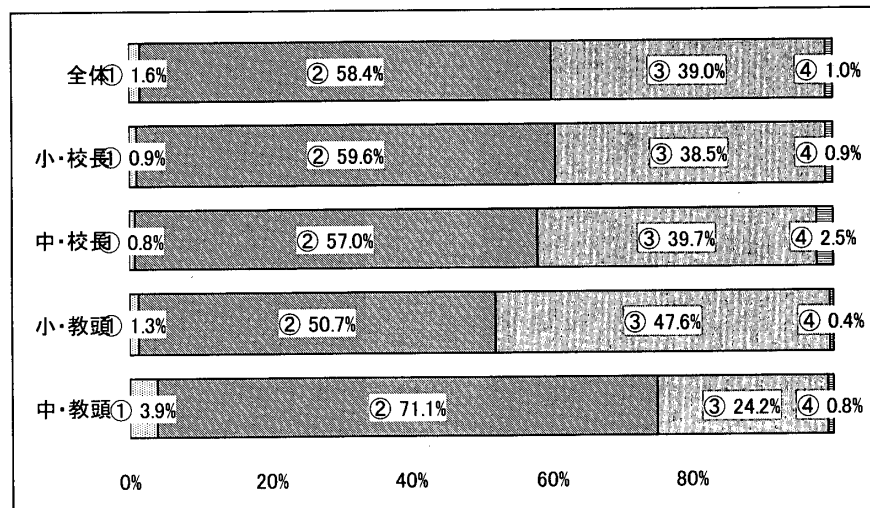
指導力等に問題のある教員の実態として、1番多いと思われるものが「児童・生徒との信頼関係が築けない」の23.7%で、2番目が「児童・生徒の掌握ができず、学級をまとめることができない」の20.9%、3番目が「授業が成立しない」の17.1%である。

〔その他〕(12名)

- ・ 保護者との人間関係がつかれない (2名)
- ・ 常識や社会性に欠ける (2名)
- ・ 心身の病
- ・ 公務員としての資質に欠ける
- ・ 豊かな感性を持っていない
- ・ 教育者としての自覚の欠如
- ・ 行動力がない
- ・ ボランティア精神に欠ける
- ・ 自己中心的
- ・ 教授理論が不十分

## 18 指導力等に問題のある教員の研修は、どこで行ったらよいですか。

図18



①当該学校    ②学校外    ③当該学校及び学校外    ④その他

## ※ 考 察

指導力等に問題のある教員の研修をどこで行ったらよいかについては、1番多いのが「学校外での研修」の約6割弱で、次いで「当該学校及び学校外での研修」の約4割弱である。「当該学校での研修」は、約2%弱と非常に少ない。

## [その他] (5名)

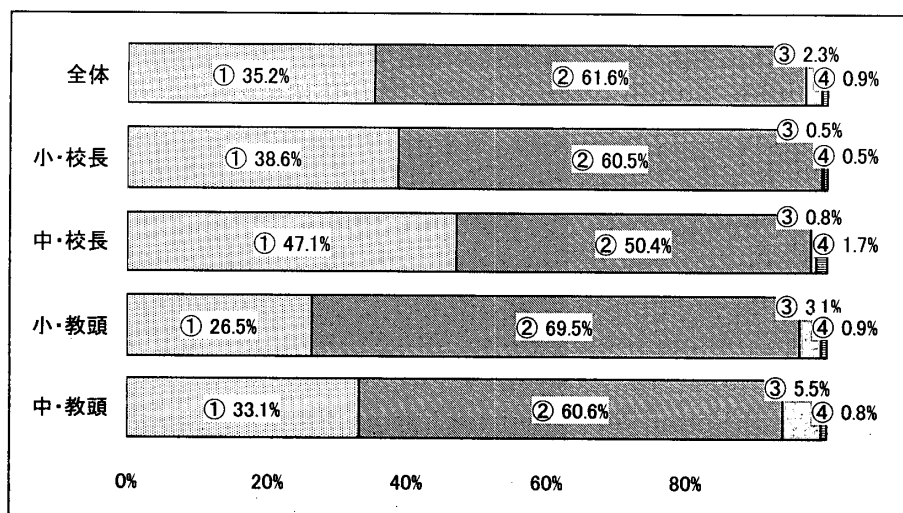
- ・ 研修の効果は期待できない
- ・ 加配があれば当該校。なければ学校外
- ・ やめてもらう。研修の必要性なし
- ・ 税金の無駄遣い
- ・ 本人が自分の指導力に問題がないと思っているところが問題

など

## 【人事考課制度について】

19 全国的にみて、人事考課制度を導入するところが増えつつありますが、この制度についてどうお考えですか。

図19



- ①導入に賛成      ②時間をかけて検討すべきである  
③導入に反対      ④その他

## ※ 考 察

人事考課制度の導入については、「時間をかけて検討すべきである」が61.6%と最も多い。次いで、「導入に賛成」が35.2%で、「導入に反対」はわずか2.3%である。

[その他] (7名)

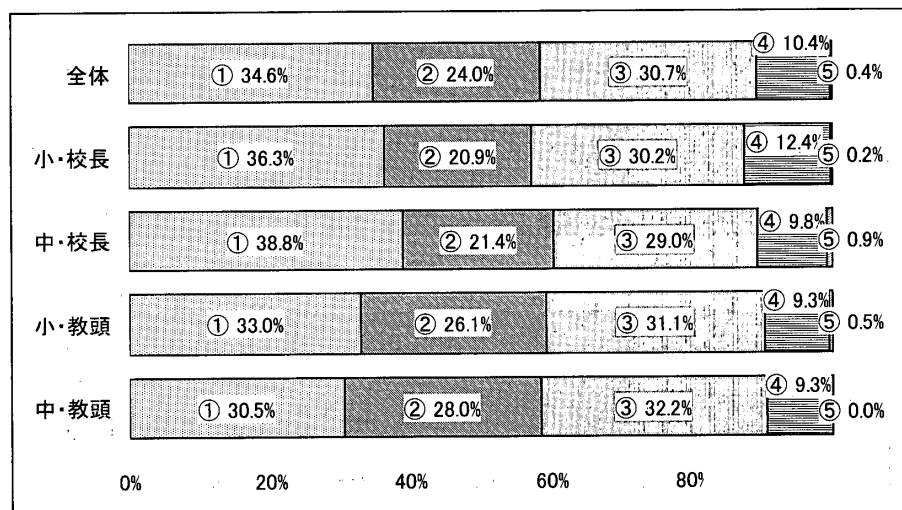
- ・ 分からない (5名)
- ・ 何とも言えない (2名)

など

## 【研修について】

20 教員の資質能力の向上のために、今後、特にどのような研修を充実すべきだとお考えですか。  
次の中から2つお選びください。

図20



- ①計画的な校内研修      ②学校における随時の実務研修      ③校外研修  
④自主研修              ⑤その他

## ※ 考 察

教員の資質能力の向上のために、今後、特にどのような研修を充実すべきかについては、1番多いのが「計画的な校内研修」で34.6%、2番目が「校外研修」の30.7%、3番目が「学校における随時の実務研修」の24.0%である。

[その他] (4名)

- ・ 心のトレーニング              ・ 法令等に関する研修
- ・ 研修の方法を変える必要あり
- ・ 小, 中, 高の勤務の態様に応じた柔軟な研修

など

## まとめ

教員には人格面や専門的な知識・技術面などにおいて様々な資質能力が求められるが、中でも、特に重要であると思われる資質能力を本調査結果に基づいて整理すると、表7のとおりである。

表7 教員に求められる資質能力

### 1 いつの時代にも教員に求められる資質能力

- ① 教育者としての使命感
- ② 児童・生徒に対する教育的愛情
- ③ 教科等に関する専門的知識

### 2 今後、特に教員に求められる資質能力

#### 1) 地球的視野に立って行動するための資質能力

##### (1) 地球、国家、人間等に関する適切な理解

- ① 人間観に関するもの
- ② 社会・集団における規範意識に関するもの
- ③ 個人と地球や国家の関係についての適切な理解に関するもの

##### (2) 豊かな人間性

- ① 人間尊重・人権尊重の精神
- ② 美しいものや自然に感動する心などの柔らかな感性
- ③ 思いやりの心

##### (3) 国際社会で必要とされる基本的資質能力

- ① わが国の伝統や文化を大切にする態度
- ② 外国の人々の生活や文化を理解し、尊重する態度
- ③ 日本人としての自覚を持って、国際親善に努める態度

#### 2) 変化の時代を生きる社会人に求められる資質能力

##### (1) 問題解決能力等にかかわるもの

- ① 創造力に関するもの
- ② 問題解決能力に関するもの
- ③ 継続的な自己教育力に関するもの

##### (2) 人間関係にかかわるもの

- ① 豊かな人間性
- ② 対人関係能力に関するもの
- ③ コミュニケーション能力に関するもの

##### (3) 社会の変化に適応するための知識及び技能

- ① 自己表現能力
- ② メディア・リテラシー
- ③ 知的好奇心

### 3) 教員の職務から必然的に求められる資質能力

#### (1) 児童・生徒や教育の在り方に関する適切な理解

- ① 児童・生徒の成長・発達に関する理解
- ② 教育課程・学習指導要領についての理解
- ③ 教育理念

#### (2) 教職に対する愛着、誇り、一体感

- ① 教育に対する情熱・使命感
- ② 児童・生徒に対する教育的愛情
- ③ 豊かで包容力のある人間性

#### (3) 教科指導、生徒指導等のための知識、技能及び態度

- ① 子どもの個性や課題解決能力を生かす能力
- ② 地域・家庭との円滑な関係を構築できる能力
- ③ 教職の意義や教員の役割に関する正確な知識
- ③ カウンセリング・マインド

### 3 得意分野を持つ個性豊かな教員

- ① 学習指導に優れた教員
- ② 生徒指導に優れた教員
- ③ 学級・学年経営に優れた教員

### 4 教員の各ライフステージに応じて求められる資質能力

#### 1) 初任者の段階

- ① 教科指導に関するもの
- ② 生徒指導に関するもの
- ② 学級経営に関するもの

#### 2) 中堅教員の段階

- ① 学校運営に積極的に参加していきことができるような企画立案、事務処理等を行うこと
- ② 主任等学校運営上重要な役割を担うこと
- ③ 若手教員への助言・援助など指導的役割を担うこと

#### 3) 管理職の段階

- ① 地域や学校の状況・課題を把握しながら、学校の目標を提示し、その目標達成に向けて教職員の意欲を引き出すなどのリーダーシップ
- ② 組織的、機動的な学校運営を行うことのできる資質能力
- ③ 教育に関する理念や識見

※ ○の数字が同じ場合は、調査結果が同一であることを表している。

## おわりに

本調査でみてきたように、教員には多様な資質能力が求められ、教員一人一人がこれらについて基礎的・基本的な知識、技能等を身に付けることは不可欠である。しかしながら、すべての教員がこれら多様な資質能力を高度に習得することを期待しても、残念ながら現実的には無理がある。むしろ学校では、授業の達人、生徒指導に長けた教員、学級経営に秀でた教員など、多様な資質能力を持つ個性豊かな人材によって構成される教員集団が組織体として機能することにより、学校の活性化が図られ、学校の教育力が高まることになると考える。

更に、教員としての資質能力は固定的なものではなく、校内での年間を通した計画的な研修、教員グループによる自主研修や職務を通じての日々の実践的な研修、教育センターなどの教育機関等での研修、視野を広げることを目的とした社会体験研修などを通して、変化し成長していくものである。現職研修の基盤整備は着実に進められているが、今後一層の充実が必要である。また、これからますます激動するであろう社会にあって、一人一人の教員が自らの資質能力を向上するために、生涯学習の観点に立ち、自己教育力を高めていくことが今まで以上に求められている。

教員採用選考試験における選考基準として、人物重視の観点に重きを置き、面接、集団討論、模擬授業、スピーチなど多様な選考方法を実施している任命権者が多いが、本調査においても、初任者に求める資質能力として専門的知識・技能面よりも、教育に対する情熱、使命感、児童生徒に対する愛情など人格面を重視した管理職の意図が顕著に出ている。

なお、資質能力の向上が特に強く叫ばれるのが、いわゆる指導力等に問題のある教員である。授業が成立しない、児童生徒との信頼関係が築けない、児童生徒の掌握ができず、学級をまとめることができないなど教員としての専門性に問題のある教員や、責任感・協調性・勤務意欲に欠けるなど人間性・社会性に問題のある教員の再教育は喫緊の課題である。その課題解決のために、任命権者、服務監督権者や学校などが全力を挙げて取り組んでいるところであり、その御労苦に敬意を表したい。

## 引用文献

- 1) 岸本幸次郎, 久高喜行 編著 1986年「教師の力量形成」P33 ぎょうせい
- 2) 佐藤 晴雄 著 2001年 「教職概論」 P133 学陽書房
- 3) 中央教育審議会答申 1971年6月
- 4) 中央教育審議会答申 1978年6月
- 5) 教育職員養成審議会答申 1987年12月
- 6) 中央教育審議会答申 1996年7月
- 7) 教育職員養成審議会第1次答申 1997年7月
- 8) 中央教育審議会答申 1998年9月
- 9) 教育職員養成審議会第3次答申 1999年12月
- 10) 教育施策・長期総合計画等

宮崎県, 鹿児島県, 熊本県, 佐賀県, 福岡県, 高知県, 広島県, 岡山県, 鳥取県, 大阪府, 静

岡山県，新潟県，福島県，宮城県，岩手県，北海道

11) 教員採用選考試験要項

大分県，長崎県，山口県，三重県，愛知県，東京都，群馬県，秋田県

謝 辞

本調査研究の実施にあたり，快く御承認を賜りました宮崎県市町村教育長連絡協議会，宮崎県校長会及び宮崎県公立小学校・中学校教頭会並びに質問紙調査に御協力いただきました校長先生・教頭先生に心から感謝申し上げます。